

## 地方創生先行型交付金事業の実施結果について

### 1 地方創生先行型交付金事業（H27年度実施事業（H26年度2月補正対応））について

#### (1) 目的

まち・ひと・しごと創生法に基づく地方版総合戦略の策定と、戦略に位置付けられる見込みの事業の先行実施に対して交付金を交付し、円滑な戦略策定とこれに関する優良施策の実施を支援すること。

#### (2) 概要

ア 予算規模 1,700億円

イ 補助率 10/10

### 2 実施結果について

	事業名	K P I（重要業績評価指標）	指標値	実績値
1	秋田市総合戦略策定事業	—	—	—
2	子育て支援事業	保育所・児童館利用者満足度数	100%	100%
3	潜在保育士掘り起こし事業	29年度当初の待機児童数	0人	0人(※)
4	起業・創業促進事業	本事業を通じた起業創業件数	50件	22件
5	販路開拓支援事業	本事業を通じた展示会等への出品数	20品	33品
6	地域しごと支援事業	本事業を通じた資格取得者数	50人	85人
7	移住・定住促進事業	本事業を通じた移住世帯数	5世帯	2世帯
8	観光振興事業	秋田市観光地点等入込客数:前年比(増)	10%	3%
9	健康長寿社会形成推進事業	実施事業に参画した市民の数	30人	188人

※実績値は28年度当初

### 3 実施結果の検証について

#### (1) 秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会の設置

総合戦略に係る効果検証等を実施するため、戦略最終年度の翌年度（平成32年度）末まで設置したもの。

#### (2) 委員（外部有識者）

昨年度、総合計画と総合戦略の策定に当たって設置した、秋田市総合計画・地方創生懇話会委員の中から、5名に委嘱した。

氏名	所属等	役職
山口 邦雄	秋田県立大学システム科学技術学部 建築環境システム学科 教授	会長
進藤 史明	ホームテック株式会社 代表取締役社長	
佐藤 裕之	羽後設備株式会社 代表取締役社長 株式会社ウェンティ・ジャパン 代表取締役社長	
野口 良孝	秋田市社会福祉協議会 会長	
山崎 純	NPO法人 子育て応援Seed 理事長	

#### (3) 主な意見

ア 保育士資格を有しながら就労していない潜在保育士に対し、就職相談会など、実際のマッチングに力点を置いた取組を進めてもらいたい。

イ 移住体験ツアーの課題や改善点等を分析するとともに、首都圏での積極的なPRに努めるなど、実際の移住に結び付く取組に力を入れてもらいたい。

### 4 検証を踏まえた今後の方針等について

ア 保育士人材バンクを創設し、結婚・出産を機に保育所を辞めた方などを中心に、研修・相談会等を通じ、就職のマッチングまで進めていく。

イ 移住ツアーを発展させ、きめ細かな相談に対応する「移住相談ツアー」を実施するとともに、多世帯同居・近居等を推進し、移住・定住につなげる。

No.	交付対象事業		本事業における重要業績評価指標 (KPI)		実績値 (27年度末)	外部有識者意見等	外部有識者意見等を踏まえた事業の今後の方針等
	事業名	事業概要	指標	指標値			
1	秋田市総合戦略策定事業	・人口ビジョンおよび総合戦略を策定するために設置する、外部有識者を含む検討組織の運営 ・人口ビジョン、総合戦略の印刷等					総合計画、総合戦略等を、予定通り27年度中に策定した。
＜若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる＞							
2	子育て支援事業	【子ども・乳幼児救済物資備蓄事業】 ・避難所に避難する子ども・乳幼児の生活を維持するための救済物資を備蓄  【公立保育所等保育環境充実経費】 ・保育所の屋外・屋内遊具や保育用品を整備 ・河辺・雄和地域の保育所に除雪機を整備  【児童館等環境充実経費】 ・児童館等の屋内遊具を整備  【市民サービスセンター子育て交流ひろば環境整備事業】 ・市民サービスセンター子育て交流ひろばの大型遊具や各種備品等を整備  【かぞくぶっくぱっく事業】 ・様々な内容かつ世代別の本を5冊詰め合わせた、福袋的なパックを貸出し	保育所・児童館利用者満足度数	100%	100%	保育所、児童館、市民サービスセンター子育て交流ひろば等の環境整備を図るとともに、図書館において、家庭の読書環境の充実を図ってもらいたい。	ブックスタート事業やかぞくぶっくぱっく事業等の内容の充実を図り、更なる利用者の増やリピーターの育成、子どもと家族を取り巻く読書環境の充実に努める。
3	潜在保育士掘り起こし事業	・市内の保育士養成校に委託し、保育士資格を有しながら就労していない潜在保育士の状況を把握するとともに、人材リストとしてデータベース化	29年度当初の待機児童数（※実績値は28年度当初）	0人	0人	掘り起こした潜在保育士に対し、研修等にとどまらず、就職相談会など、実際のマッチングに力点を置いた取組を進めてもらいたい。	保育士不足の解消を図るため、保育士人材バンクを創設し、結婚・出産を機に保育所を辞めた方などを中心に、研修・相談会等を通じ、就職のマッチングまで進めていく。
＜安定した雇用を創出する＞							
4	起業・創業促進事業	【小売業等チャレンジ支援事業】 ・空きテナントを市で借り上げ、チャレンジショップの場を安価で提供  【創業支援事業】 ・起業家に対する開業に必要な経費の補助 ・県外からの転入者の起業に対する事業拠点と生活拠点の確保に必要な費用の補助 ・商工団体が実施するAターン創業の促進に向けた首都圏でのPR活動等の支援	本事業を通じた起業創業件数	50件	22件	補助率1/2の自己負担も困難な資金力に乏しい起業家ほど、資金面・経営面での、きめ細かなサポートが大切である。	市内の創業支援事業者と連携しながら、創業希望者に応じたきめ細かなサポートを行うとともに、必要に応じて融資あっせんやファンド等の他の支援制度についても情報提供していく。
5	販路開拓支援事業	【地域特産品等セールスプロモーション事業】 ・展示会への出展支援等（バイヤー向けパンフ作成、セールス知識の指導、出展商品のパッケージデザインの改良など専門家によるブラッシュアップ） ・マッチング商談会（農産加工品事業者と商工業者）の開催経費の補助	本事業を通じた展示会等への出品数	20品	33品	展示会やマッチング商談会への出展により、市内農産加工品の魅力をPRし、事業者間の情報交換を促進させることで、農商工連携の動きを生み出してもらいたい。	出展事業者および来場者を増やすため、広く呼びかけを行うとともに、商談会出展支援補助や商品ブラッシュアップ支援等を通じて、商品の魅力向上と新たな販路拡大につなげる。

No.	交付対象事業		本事業における重要業績評価指標 (KPI)		実績値 (27年度末)	外部有識者意見等	外部有識者意見等を踏まえた事業の今後の方針等
	事業名	事業概要	指標	指標値			
6	地域しごと支援事業	<p>【資格取得助成制度拡充事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・壮年期等求職者の雇用促進と非正規雇用の正規雇用への転換を支援するため、就職や仕事に役立つ資格の取得費用の一部を助成</li> </ul>	本事業を通じた資格取得者数	50人	85人	資格取得が実際の就職に結び付くことが重要であり、就職時に報償するなど、インセンティブを与える手法も有効ではないか。	資格取得と就職のつながりについて、アンケート調査を実施しており、今後も検証を行いながら、効果的に、雇用の創出、安定化および質の向上を図っていく。
＜秋田市への新しいひとの流れをつくる＞							
7	移住・定住促進事業	<p>【移住促進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住体験ツアーの実施</li> <li>・移住ガイドブックの作成</li> <li>・移住PR動画の制作・配信</li> </ul> <p>【空き家定住推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住に向けた空き家バンク登録物件の改修費の補助</li> </ul> <p>【多世帯同居・近居推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同居するための改修費の補助</li> <li>・市外からの近居への補助</li> </ul>	本事業を通じた移住世帯数	5世帯	2世帯	移住ツアーの課題や改善点等を分析するとともに、首都圏での積極的なPRに努めるなど、実際の移住に結び付く取組に力を入れてもらいたい。	「移住体験ツアー」を発展させ、きめ細かな相談に対応する「移住相談ツアー」を実施するとともに、空き家利活用および多世帯同居・近居を推進し、移住・定住につなげる。
8	観光振興事業	<p>【観光・防災Wi-Fiステーション整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅あきた港のほか、市内観光施設（民俗芸能伝承館、にぎわい交流館）のWi-Fi環境を整備</li> </ul> <p>【インバウンド観光客情報発信事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田市観光ガイドブック「ゆらら」の外国語（5言語）版サイトを作成</li> <li>・宿泊施設のWi-Fi設置費用を補助（補助率2/3）</li> </ul> <p>【道の駅「あきた港」にぎわい創出事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クルーズ船寄港時に、歓迎行事やシャトルバス（着岸岸壁とセリオン間）の運行を実施</li> </ul> <p>【ふるさと歴史再発見事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市に点在する貴重な文化財をネットワーク化したマップを作成</li> </ul>	秋田市観光地点等入込客数：前年比（増）	10%	3%	外国語版サイトへのアクセス件数など、実数を適宜把握するとともに、Wi-Fi設置費用の自己負担が困難であった宿泊施設に対する支援制度について、検討してもらいたい。	外国語版サイトの更新等を行いながら、本市観光施策に資する情報を整理し、インバウンド誘客の強化に取り組んでいく。
＜高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくりを進める＞							
9	健康長寿社会形成推進事業	<p>【高齢者コミュニティ活動創出・支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に活躍の場を求める高齢者（リタイア層）のコミュニティ活動を新たに創出・支援し、担い手不足、住民同士のつながりの希薄化、高齢者の孤立問題などの地域課題の解決が図られる体制を構築</li> <li>・高齢者への実態調査やヒアリングの実施</li> <li>・各地域包括圏域ごとに住民主体によるワークショップ等の実施</li> <li>・調査データを基にした情報発信による市民の意識喚起</li> <li>・地域で支え合う仕組みを市民が参画・研究するプロジェクトの設置</li> </ul>	実施事業に参画した市民の数	30人	188人	高齢者の新たなコミュニティ活動を創出・支援することで、シルバー人材センター利用者の増加につながるなど、地域課題の解決に向け、事業を推進してもらいたい。	体制構築期間を3年としていることから、引き続き、大学・民間事業者と連携しながら、ワークショップ等を実施し、高齢者による多様なコミュニティ活動の創出と地域課題解決へとつなげる。